



阿像

吽像

有形文化財（彫刻）

18. ^{もくぞうこまいぬ}木造狛犬 2頭一対

■指定年月日 昭和41年6月1日（1966）

■像 高 阿像 41.2cm 吽像 43.0cm

■所在地 馬縹町9-1甲

■所有者 ^{かすが}春日神社

2頭とも、頭部と胸部と前足は、一木材で造り、後足は別材で彫りはめこんである。阿の像は口を大きくあけ、たてがみの毛すじも刻んであり、吽の像は口をとじ、たてがみは垂れ下がった毛先きの輪郭だけが彫られている。2頭とも彩色の痕跡が部分的に見られる。虫くいでやや欠損した部分もみられるが、保存は概してよい。

底部に次の墨書の銘文が書かれている。

（阿像）奉造立天□恒俊十龍左衛門
延命子孫^{（マツナギ）}榮昌故
永禄元年閏六月
十一日早 珠 □
藤右 □

（吽像）奉造立□大精誠之意趣者
心深五^{（マツナギ）}躰息災延命
子孫榮昌家内安全
諸人快樂可為如意
皆令満足□百廿□
于時永禄元年
□六月十一日
□助左衛門（花押）

この銘文によって、狛犬は馬縹の名主恒俊一族が永禄元年（1558）春日神社に奉納した事がわかる。製作年代や奉納者・奉納の目的などが明確で珠洲の中世史にとっても貴重な資料となる遺品である。